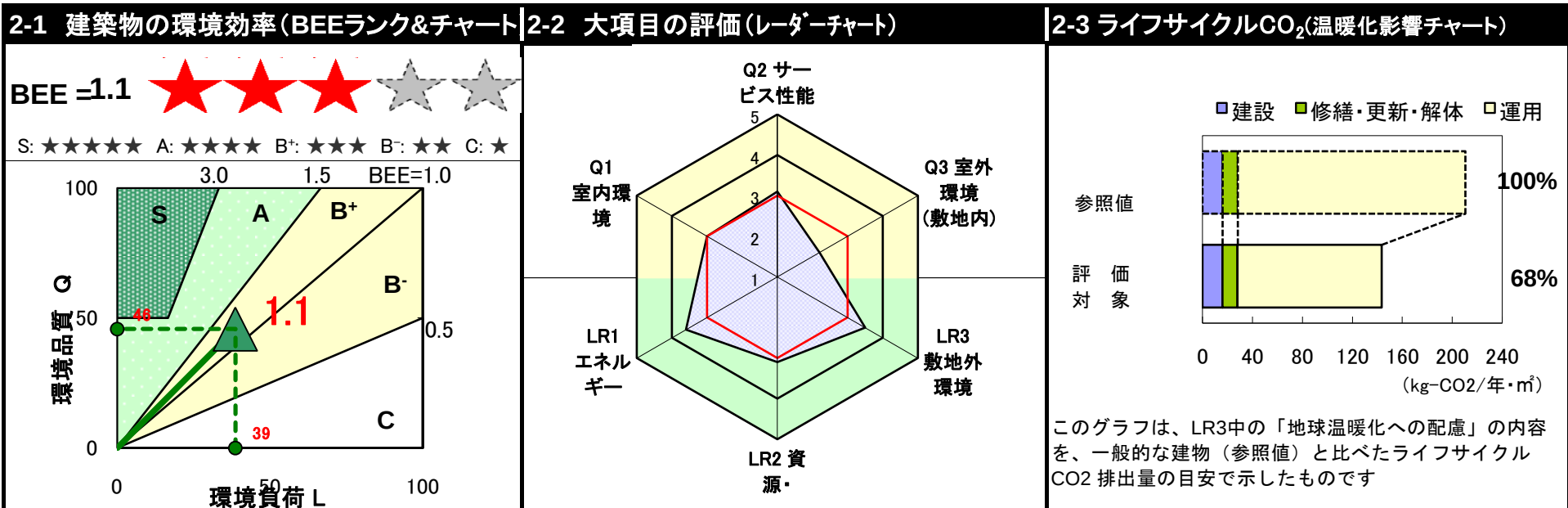


1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	デオデオ第2本店	階数	地下1F地上11F	
建設地	広島市中区大手町1番1号	構造	S造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,600 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	3,650 時間/年	
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2012年4月 予定	評価の実施日	2011年2月22日	
敷地面積	1,334 m ²	作成者	藤井 真弓	
建築面積	1,099 m ²	確認日	2011年2月28日	
延床面積	11,899 m ²	確認者	杉田 久	



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.2		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.6	スコア= 1.9	スコア= 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 省エネ法の基準に沿った適正な断熱材で熱負荷を抑制する。 / 全熱交換器ユニットの利用による空調の高効率化、高効率照明機器の利用。 / 各種エネルギー消費量を年間に渡り把握。 / 節水型器具の採用、杭について高炉スラグを使用。 / 設備システムの高効率化によりCO ₂ 削減。	設計の計画上特段に配慮した事項 外構、屋上に緑化を施し温熱環境の向上と地域アメニティへの配慮を行なう。 / 駐車場(隔地にて確保)、自転車(地下にて確保)とも附置義務台数を確保。	設計の計画上特段に配慮した事項 対応年数が長い材料を採用。 / 主要機器を屋上や地下に配置し、将来更新時に容易に対応できるルートを確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される